

「こうわん・くうこう」だより

kouzu-shima
神津島

発行：平成25年9月

神津島空港に水陸両用飛行機が着陸

神津島空港では新中央航空による神津島と調布飛行場とを結ぶ定期便以外にも、個人や法人、官公庁などで所有している飛行機やヘリコプターを受け入れています。利用者の目的は仕事やレジャーなど様々ですが、ゴールデンウィークや夏季などは特に観光目的のお客様が多く、7月、8月には多くの機体が神津島空港に着陸しました。そんな中、非常に珍しい飛行機が神津島空港にやってきましたのでご紹介いたします。

それは、水陸両用飛行機です。『観光バスに乗ったまま、水の中にスプラッシュ!』という水陸両用バスが話題になっていますが、今回、来島した機体はその飛行機版です。空港の滑走路からの離着陸はもちろんのこと、水面からの離着陸も可能な機体です。飛行機とボートを合体させたような形状をしており、広い湖が多くあるカナダなどの海外では多数存在するようですが、日本においては非常に珍しい機体だそうです。

神津島空港では、飛行機やヘリコプターの受入を随時行っております。皆様も機会がありましたら是非ともお越しください。

水陸両用機（側面）



水陸両用機（正面）



離陸時1



離陸時2



神津島港の港湾工事～平成25年度～

神津島港及び海岸では昨年度に引き続き、本年度も港や砂浜を守るために多くの工事を行っています。

- ① 潜堤の改良（小さな被覆ブロックを波に強い大きなブロックに改良）
 - ② 護岸の改良（消波ブロックの増設）
 - ③ 防波堤北(Ⅱ)の建設（沖側に防波堤を延伸）
- 今回はその中の一部の作業をご紹介します。

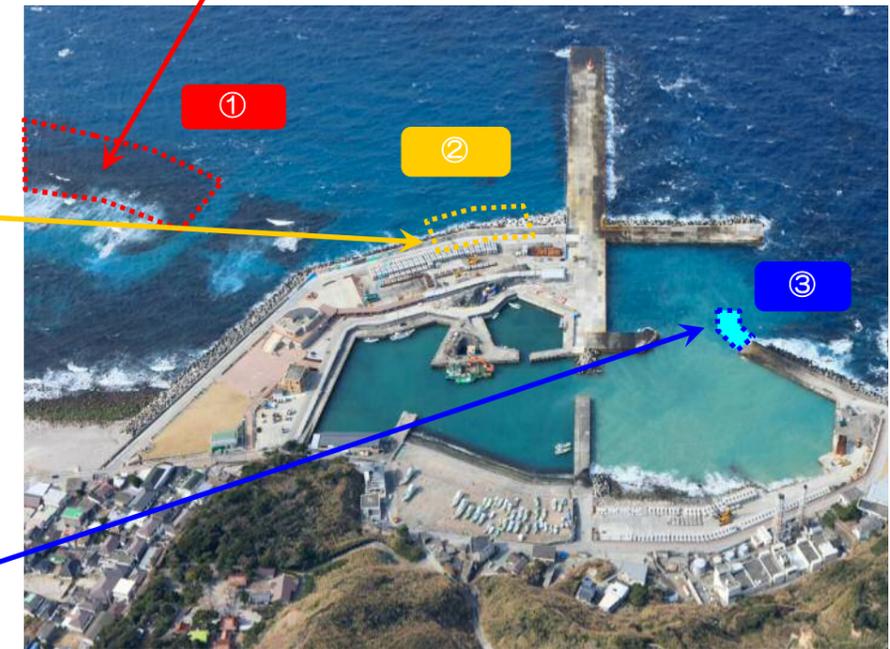
① 潜堤の改良（潜堤用ブロックの製作状況）
ポンプ車で型枠にコンクリートを流し込みます。



② 護岸の改良（消波ブロックの増設）
起重機船と呼ばれる船で設置します。



③ 防波堤北(Ⅱ)の建設
鋼製型枠の組立状況



神津島港：工事箇所

③の防波堤北(Ⅱ)の建設工事では、鋼製型枠と呼ばれる大きな鉄の箱を海中に沈め、その中にコンクリートを流し込むことで防波堤を造っています。右の写真のように波打ち際に鉄板が見えている場所ではこのような方法で構造物がつけられています。船に乗るときなどに探してみると面白いかもしれません！

* 防波堤の建設には他にもコンクリート製の大きな箱を沈めるケーソン式、コンクリートのブロックを重ねていくブロック積式などの工法があります。

鉄板（オレンジ色の部分）



今後とも大きな作業船が入り出すなど、ご迷惑をお掛けしますが、港湾工事へのご理解ご協力の程お願い致します。

港湾・空港へのご意見・ご要望、ご質問は下記まで

- ◆大島支庁神津島港湾空港管理事務所 電話：04992-8-1311 FAX：8-1313
- ◆大島支庁神津島出張所港湾空港工事担当係 電話：04992-8-0311 FAX：8-0313